

あいちの世帯におけるスマートテレビの利用状況

テレビのうち、インターネットへの接続機能を備え、多機能・双方向の利用を可能にしたテレビ受像機は「スマートテレビ」と呼ばれています。

最近では、こうした機能を用いて、視聴者自らが番組に参加したり、番組にリクエストをするなどの対話的なやりとりを可能にするスマートテレビを用いたマルチメディア化の動きが進んでいます。

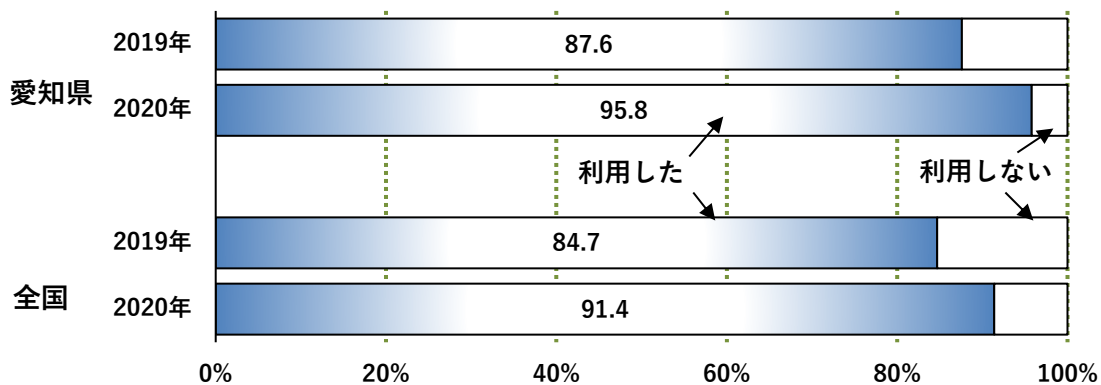
今回は「通信利用動向調査」の結果から愛知県の家帯におけるスマートテレビを利用したインターネットとテレビの融合の現状についてみてみたいと思います。

1 自宅でブロードバンド回線を利用する世帯の割合

過去1年間にインターネット利用者がいる愛知県の世帯について、ブロードバンド回線の利用状況をみると、「利用した」と回答をした世帯の割合は、2020年では95.8%となり、前年比8.2ポイントの上昇となっています。

同様に全国の世帯をみると、2020年では91.4%となり、前年比6.7ポイントの上昇となっています（図表1）。

図表1 自宅でブロードバンド回線を利用した世帯の割合(愛知県・全国)



資料:総務省 通信利用動向調査 (2019年 2020年)

図表2 都道府県別自宅でブロードバンド回線を利用した世帯の占める割合 (2020年)

順位	都道府県名	割合(%)
1	東京都	96.2
2	愛知県	95.8
3	富山県	95.7
4	滋賀県	94.0
5	香川県	93.9

都道府県別でみると、自宅でブロードバンド回線を利用してインターネット接続した世帯の割合が最も高いのは、東京都の96.2%で、次いで愛知県、富山県、滋賀県、香川県の順となっています（図表2）。

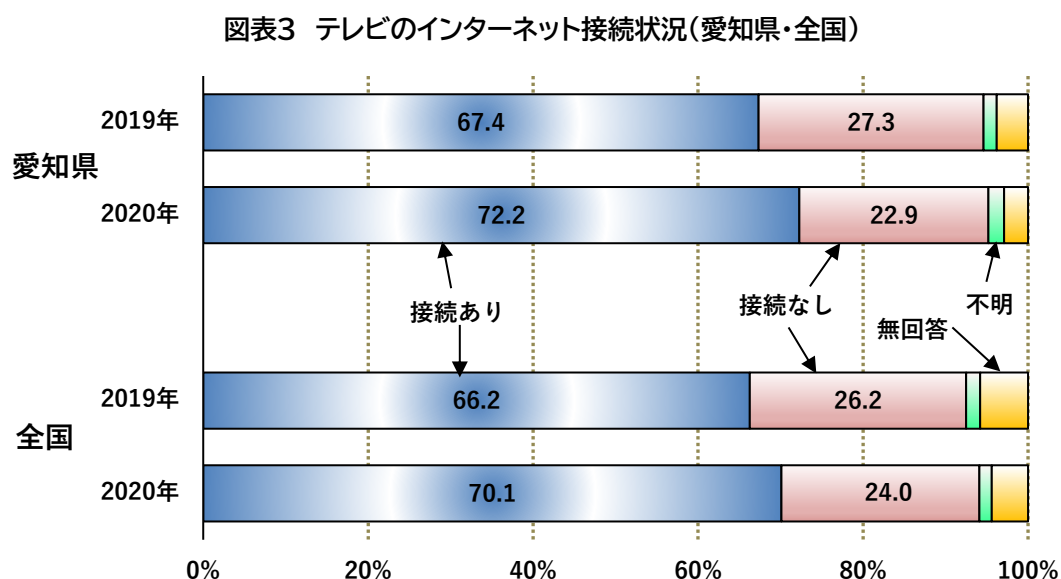
資料:総務省 通信利用動向調査 (2020年)

2 テレビのインターネット接続状況

テレビといえば、従来は番組を受動的に楽しむだけのものでした。しかし、テレビからのインターネット接続が可能となり、「ビデオオンデマンド（VOD：Video On Demand）」のように視聴者が見たい番組・コンテンツを自分で探し、選ぶといった能動的な使い方ができるようになりました。そこで、ここではテレビのインターネット接続状況についてみてみたいと思います。

テレビを保有する愛知県の世帯について、テレビのインターネット接続状況をみると、「接続あり」と回答した世帯の割合は72.2%となり、前年比4.8ポイントの上昇となっています。

同様に全国の世帯をみると、2020年では70.1%となり、前年比3.9ポイントの上昇となっています（図表3）。



資料:総務省 通信利用動向調査 (2019年 2020年)

図表4 都道府県別テレビのインターネット接続状況(2020年)

順位	都道府県名	割合(%)
1	富山県	81.0
2	埼玉県	76.1
3	鳥取県	75.4
4	神奈川県	75.3
5	徳島県	75.0
9	愛知県	72.2

都道府県別で見ると、テレビのインターネット接続が最も進んでいるのは富山県の81.0%で、次いで埼玉県、鳥取県、神奈川県、徳島県の順となっています。

愛知県の72.2%は第9位となります（図表4）。

資料:総務省 通信利用動向調査 (2020年)

3 IPTVを受信するためのチューナーでのインターネット接続状況

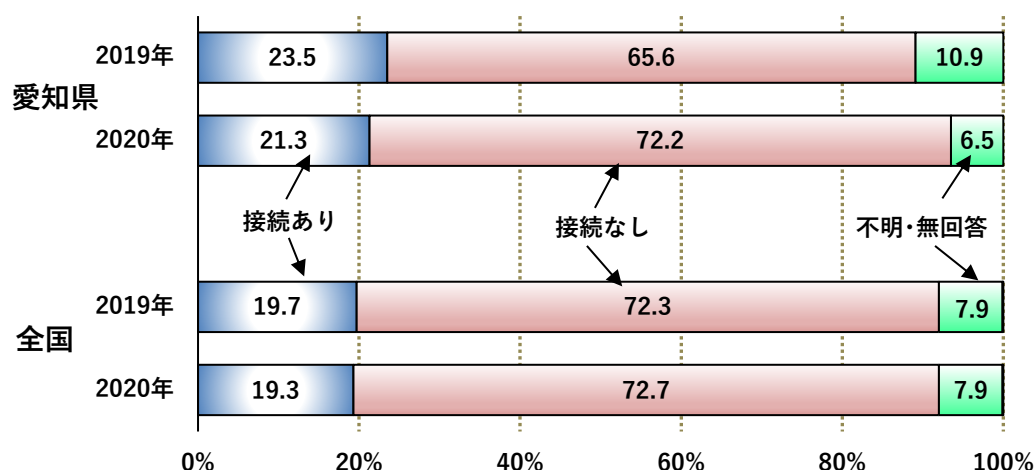
IPTVとは、対応機能（チューナー）を内蔵したTVやレコーダー等をインターネットに繋ぐことで、好きな時に、品揃えされている映画や番組を視聴できるサービスをいいます。

IPTVを受信するために必要となるチューナーを保有する愛知県の世帯について、チューナーのインターネット接続状況を見ると、「接続あり」と回答した世帯の割合は、2020年では21.3%となり、前年比2.2ポイントの低下となっています。

同様に全国の世帯をみると、2020年では19.3%となり、前年比0.4ポイントの低下となっています（図表5）。

※レコーダー等で視聴する場合は別途ディスプレイが必要となります。

図表5 IPTVを受信するためのチューナーでのインターネット接続状況
(愛知県・全国)



資料:総務省 通信利用動向調査 (2019年 2020年)

図表6 都道府県別IPTVを受信するための
チューナーでのインターネット接続状況
(2020年)

順位	都道府県名	割合(%)
1	静岡県	28.6
2	滋賀県	27.8
3	徳島県	27.1
4	長野県	25.8
5	青森県	25.4
16	愛知県	21.3

資料:総務省 通信利用動向調査 (2020年)

都道府県別でみると、IPTVを受信するためのチューナーでのインターネット接続について、「接続あり」の割合が最も高いのは静岡県の28.6%で、次いで滋賀県、徳島県、長野県、青森県の順となっています。

愛知県の21.3%は第16位となります(図表6)。

4 ハイブリッドキャスト機能の利用状況

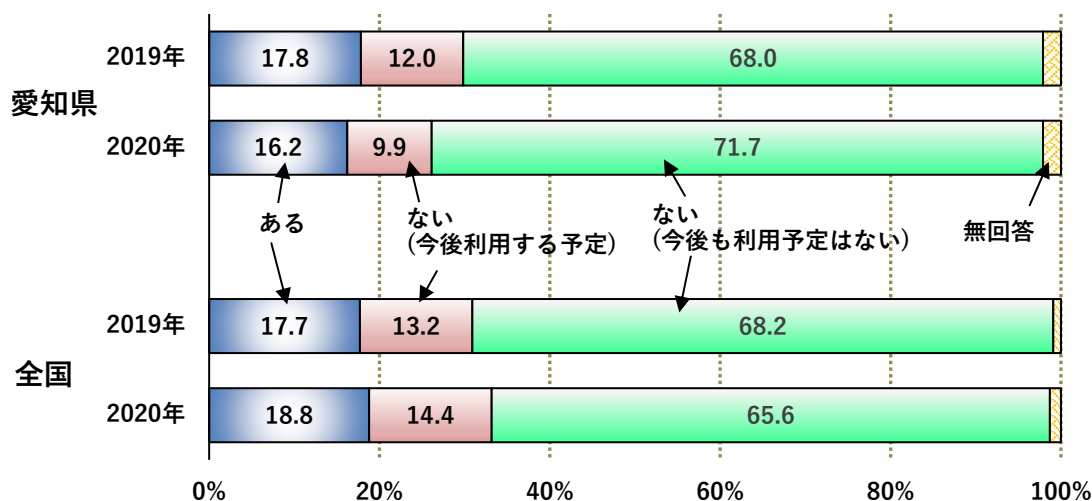
「ハイブリッドキャスト」機能とは、放送波と通信（インターネット）を融合させたサービスをいい、インターネット経由でアプリやコンテンツが放送番組と連動して、テレビに表示させることができます。例えば、料理番組では、放送中にレシピを表示させたり、旅番組では、場所や特産品などの情報を表示させたりすることができます。

「ハイブリッドキャスト」機能を利用するためには、対応機能を有したテレビとそのテレビがインターネットに接続されていることが必要となります。

インターネットに接続したテレビを保有する愛知県の世帯について、「ハイブリッドキャスト」機能の利用状況をみると、「ある」と回答した世帯の割合は、2020年では16.2%となり、前年比1.6ポイントの低下となっています。

同様に全国の世帯をみると、2020年では18.8%となり、前年比1.1ポイントの上昇となっています（図表7）。

図表7 ハイブリッドキャスト機能の利用状況(愛知県・全国)



資料:総務省 通信利用動向調査(2019年2020年)

図表8 都道府県別ハイブリッドキャスト機能の利用状況(2020年)

順位	都道府県名	割合(%)
1	東京都	25.0
2	滋賀県	24.2
3	大阪府	23.8
4	群馬県	21.9
4	京都府	21.9
29	愛知県	16.2

都道府県別でみると、ハイブリッドキャスト機能を利用したことが「ある」と回答した世帯の割合が最も高いのは、東京都の25.0%で、次いで滋賀県、大阪府、群馬県・京都府の順となっています。

愛知県の16.2%は第29位となります（図表8）。

資料:総務省 通信利用動向調査(2020年)

5 薄型テレビの国内出荷台数

最後に薄型テレビの国内出荷実績(数量)についてみてみたいと思います。

2021年の薄型テレビの国内出荷台数は5,387千台で、前年比99.3%と0.7ポイントの低下となっています。

このうち高付加価値テレビについてみると、4K(対応)テレビの出荷台数は3,063千台で、前年比100.3%と0.3ポイントの上昇、ハイブリッドキャスト対応テレビは3,178千台で、前年比109.2%と9.2ポイントの上昇、有機ELテレビは634千台で、前年比140.6%と40.6ポイントの上昇となっています(図表9)。

図表9 薄型テレビの国内出荷台数(2021年)

単位:数量(千台)、前年比(%)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
薄型テレビ	数量	414	465	542	431	416	524	404	359	354	369	472	637	5,387
	前年比	118.2	147.5	118.3	122.5	114.7	111.3	77.2	71.1	74.3	86.7	92.1	94.4	99.3
4K対応	数量	245	244	306	238	255	329	239	200	204	200	249	353	3,063
	前年比	129	139.8	128.7	142.6	134.8	111.6	82.4	69.5	78.4	78.1	83.2	86.8	100.3
ハイブリッド キャスト対応	数量	234	245	301	254	268	333	251	208	213	218	272	381	3,178
	前年比	145.2	157.2	135	157.4	153.5	119.3	94.4	75.8	81.3	87.3	91.2	94.2	109.2
有機EL	数量	42	43	53	49	65	74	51	35	46	47	56	74	634
	前年比	184.9	186	147.3	274.8	265.6	163.9	115.6	71.1	125.8	113.3	121	114.4	140.6

資料:一般社団法人 電子情報技術産業協会 民生用電子機器国内出荷実績

おわりに

スマートテレビを利用したインターネットとテレビの融合の現状についてみてみました。

世帯における高速大容量通信であるブロードバンドの普及もあって、インターネットに接続したテレビを有する世帯の割合は、愛知県、全国ともに2020年時点で7割を超えています。

一方、愛知県、全国ともに利用経験のある世帯の割合が2割に満たなかった「ハイブリッドキャスト」機能についても、対応したテレビの出荷数量も増加しており、今後は、買い換えなどを背景に「スマートテレビ」の普及が進み、通信・放送融合型のサービス拡大が期待されます。